

家庭教育学級新聞

第36号 R2.7.3
発行 山武市教育委員会
生涯学習課



今年度のスタートはコロナウイルス感染拡大防止のため、学校の休校や自主登園などでいつもと同じ新学期が迎えられず残念でした。そして、長い休みの中、いろいろな場面で多くの方が苦勞され、大変だったと思われます。

その中でも、おうち時間を有意義に使って新しい発見をしたお子さんもいたことでしょう。

学校等が始まり、徐々に日常を取り戻そうとする中、何かと不安なお子さんもいるかもしれませんが、家族みんなで見守り、支えていきましょう。

家庭教育学級に参加しよう！



☆ 家庭教育学級とは？

「親の学びの場」「親同士が交流をもつ仲間づくりの場」です。子育ての悩みや苦勞などをともに話したり、何かを一緒に（時には親子で）体験したり、講話を聞いて知識を得たりしながら親自身が成長していくための学びの場であり、仲間づくりの場です。1年間を見通して、主に各学校等の担当者（教職員とPTA役員）が計画します。

☆ どんなことをやるの？

昨年度の行われた事例を一部、紹介します。



その1：講師を招いて、講話を聴きます。（スマホ安全教室・子育て講話など）

その2：体験の講座。園では、親子参加型が多く、コサージュ作りなど楽しそうでした。3B体操やヒップホップなど体を動かす講座も好評でした。小学校では、和菓子作りやアロマ体験も参加した保護者の方からよかったと喜ばれました。

今年度はどんな学級が開かれるか楽しみです。どうぞ、お時間を見つけて参加していただきたいと思います。中には仕事の関係で参加できないという方もいらっしゃると思います。この新聞でお伝えできるようにしますが、「百聞は一見にしかず」です。今年度は、今後のコロナウイルス感染拡大の関係で急きょ中止になる場合があるかもしれませんが、ぜひ1度参加してみてください。

☆ 他にもこんな講座があります



CAP 講演会

CAPとは、Child(子どもへの) Assault(暴力) Prevention(防止)の頭文字をとり、子どもが様々な暴力(いじめ・誘拐・虐待・性暴力など)から自分の大切な心や体を守るための人権教育プログラムです。

各園・学校から、家庭教育学級としてCAP講演会の案内がきたら、ぜひとも、ご参加くださるようお願いいたします。

毎年、大変好評で、複数回受講されている保護者の方もいらっしゃいます。

子育て
電話相談
受付中

☎0475(80)1456
月・火・木・金
9:00~16:30



親業講座



親業講座とは、親子関係を改善し、温かく健全な家庭を築き、子どもの健やかな成長を実現するためのトレーニングです。その中では、①「聞くこと」、②「話すこと」、③「対立を解くこと」、この3つが柱となっています。子どもは子どもなりにそれぞれ独立した欲求をもっています。親がこうあるべきだと思っているのに、子どもはこうしたい、と考えていると、親と対立します。親が親の権限で「それはだめ。親のいうことを聞きなさい。」と意見を押し付けていませんか。親業では、親子が対立しない方法を、役割劇などを通して学んでいきます。ぜひお友達をお誘いのうえ参加してみてください。

《令和2年度親業講座の開催予定》

令和2年 10月・・・蓮沼小学校会場 ・ さんぶの森中央会館会場

令和3年 1月・・・山武市役所会場

※ 詳細が決まりましたら、チラシにてお伝えします。お近くの会場へぜひ足をお運びください。

これは役にたちそうだ！ 子育てに不安を感じたら見てみよう！！

☆ 【子育て豆知識】

仕事や用事などで家庭教育学級に参加したくても参加できない保護者の方もいることと思います。家庭教育学級に参加できなくても子育てを応援してくれる・情報を提供してくれる場はたくさんあります。県教育委員会のホームページ（HP）もその一つです。

「どうして、うちの子は〇〇なのかな？」、「また叱ってしまった。」、「なかなか親の思うようにはいかない」、子育てには悩みはつきものです。そんな「困った」に答えてくれるコメントがいっぱいのサイトです。カテゴリ別（幼児編・小学生編・中学生編）になっているので、子どもの発達に合わせたコメントでわかりやすく書かれています。子育てで悩んでいる人必見です。「あるある」に対してのコメントがわかりやすく書かれています。一例を抜粋してご紹介します。

幼児編：上手な「しかり方」教えます！



子どもを叱る時、大人の都合で叱っていませんか？大人にとって困った行動でも子どもにとっては自然な行動。自分の欲求をコントロールするにはまだまだ未熟です。子どもの思いに共感し、冷静に注意することで素直に子どもも受け入れてくれるでしょう。ポイントは、①「叱る前に一呼吸」、そして、②「どなるのではなく、目を見てしっかり伝える」ことです。どなったり、叫んだり逆効果です。

小学生編：ゲームばかりやっていて心配



ゲームは楽しいから夢中になってしまうものです。頭ごなしに禁止せず、親が何を心配しているのかを、子どもに具体的に伝えましょう。例えば「ゲーム中毒になること。勉強時間がなくなること。遊びが現実から離れていること。」などを話せば、その心配事を子どもも考えます。ポイントは、①「心配を子どもに上手に伝える」、そして、②「子ども自身が考え対策を出させる」ことです。よく話し合い、子ども自身が自ら問題を解決しようという気持を持たせることが大切です。

中学生編：いつまでも子ども扱いしていませんか

親の指示に従わないのは自立へ向かう第一歩です。場合によっては大人として対応してあげることが必要になってきたのかもしれませんが、わが子は 親から見ればいつまでも子どもでも、どこかで一人前の扱いをしてみましよう。

子育て豆知識は、千葉県教育委員会 HP 内から見ることができます。ぜひ、ご覧ください。

《HP》 家庭教育の支援 ⇒ 親力アップいきいき子育て広場 ⇒ 子育て豆知識

《URL》 https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/ikiiki/oyaryoku_up/mametishiki/